



長照寺だより

わげんあいご 和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 摂取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242
URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: info@cyoshoji.or.jp



本願寺金沢別院でのお参り

本願寺金沢別院本堂前にて



金沢兼六園にて

「人は嘘をつかないようにしようと努めることを大変よいことだと思っているが、心に嘘いつわりのないようにしようと努める人はそれほど多くはない。」

(蓮如上人御一代記聞書より)

年頭所感



住職 本持愚山

仏歴二千五百五拾三年を、門信徒会の皆様はそれぞれの思いを持ちながら迎えられた事でしょう。あらためて、明けましておめでとうございませう。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、いよいよ来年はご開山親鸞聖人七五〇回大遠忌法要が、京都ご本山にてお勤まりになります。長照寺が一昨年新寺建立の記念法要と大遠忌お待ち受け法要を勤めさせて戴いたのは記憶に新しい所です。その折に皆様には、三年後、ご一緒に本山へ参拝致しましょうとお声を掛けましたが、思い出して下さいましたか？そうです、本当に時の経つ早さは止まっています。しいと思っても無理な話なのです。

当寺院は二十二年目を迎えました。が、「お念仏の道」を諦らかにして下さった、ご聖人のご

遺徳を偲ばせて戴く歴史から見れば、年数は比べようありません。と言うより比べる必要などない訳です。それは、ご聖人の「お心」が今も昔も変わらず、脈々と伝えられていると言う事であり、何ともすばらしいではありませんか。その一端を担っているのが長照寺門信徒会の皆様なのです。

平成二十三年九月十一日に静岡東組の皆様と団体で参拝する事が決まりました。ですから、どうぞ今から心の準備を致しましょう。

当地にお念仏の種が蒔かれ、二十三年「強く明るく生き抜き、これからもご聖人の御跡を慕い続け、人生に悔いなし」と報告に行こうではありませんか……

合掌



門信徒会親睦研修旅行

(金沢別院参拝および本願寺展・兼六園の旅)

平成二十二年九月三十日～十月二日



門信徒 石垣 静子

亡き夫の一周忌をすませたところから、折りにつけ寂しさがつむじ風のように体の中を通り過ぎていく、そんな心境のとき、お寺から旅行のお誘いがあり一瞬ためらいましたが結局参加することになりました。旅するのは何年振りでしょうか。バスの中は温かい雰囲気です。初対面の私が打ち解けるまでそれほど時間はかかりませんでした。

一日目、大本山永平寺と丸岡城。西へ向かうにしたがって雨脚が強くなったり弱くなったり、濃尾平野まで来ると、白い花の咲く蕎麦の畑がパッチワークのようにあちらこちらに見えました。五時間近く走って昼食の後、山懐に抱かれた永平寺へ。境内はひとときわ緑が美しく雨に濡れて、しっとりとした佇まいの庭、御堂の中の厳かな空気に思わず襟を正してお参りしました。

二日目、東尋坊・金沢兼六園・県立歴史博物館(本願寺展)・本願寺別院。快晴の東尋坊の険しい崖の上に立つと穏やかな海に白い波頭をたてて沖へ進む三、四隻の漁船が見えます。夫に先立たれてからは、目の前の大海原へ放り出されたような孤独感を受け入れていくしかありません。この深い悲しみは一緒に旅をしている方々も同じ思いかも知れない、そう思い直すと触れ合っていくうちに自然と癒されていきました。

東尋坊 海の彼方の水平線 ほそく一筋光りて見ゆる

三日目、高岡瑞龍時から五箇所合掌集落へ、築五百年の合掌造りは柱・床・板戸にいたるまで磨き抜かれて、年月の重さが黒光りの美しさとなって残されていました。歴史のある町並や建物は老人達が守っているのでしょうか。ここに住む老夫婦がいろりを囲む私たちにもてなしてくれた熱いお茶を飲みながら奥さんがやわらかな声で唄う「おわら節」を聴きました。切ないまでのうた声はこくりこ竹と相俟って心の奥に沁み透っていきました。

炉とか、こみ しんみりとまじくおわら節

外はしぐれの五箇所山の里

ご住職に背中を押していただいていたので参加しましたが、おかげさまで新たな一歩を踏み出すきっかけになり深く感謝しております。

ご一緒に旅をした皆様の温かさに改めてお礼申し上げます、そして亡き夫のおかげで長照寺と良いご縁をいただきましたことを心から有り難く思いました。

夫逝きて 一年がすぎつつがなし 水仙の花墓に手向け



永平寺



東尋坊



兼六園

活動報告

平成二十二年下期

境内清掃作業・親睦懇親会

①平成二十二年七月二十六日
作業終了後のスイカの味は格別
でした。 ……九〇余名



②平成二十二年十二月六日
新しい年を迎えるにあたり、
感謝・感謝。 ……一〇〇余名

お寺の林間学校(南ブロック門徒子弟研修会)

平成二十二年七月二十九日～
三十一日

…長照寺・三島市立箱根の里

※写真は8ページにも掲載



合同盆法要(全八回)

平成二十二年八月十三～十五日

…二二一家族 六二四名

「先祖様曰く「皆が元気であれしいよ。これからも
頑張つて楽しく生きてほしいな。」」

秋季彼岸会法要

平成二十二年九月二十三日

ご講師 南莊撰(おさむ)師
今年から午前・午後の二部に
変わりました。



…一三〇余名

門信徒会親睦研修旅行

平成二十二年九月三十日～十月二日

…金沢方面

金沢別院参拝および本願寺展・兼六園の旅をしました。
※写真は表紙、3ページ

仏教壮年会連盟結成大会

平成二十二年十月十日～十二日

…京都・西本願寺(本山)

先輩方々を敬いながら、若い者とも共生きの強化団体です。

七五三参り(恵のお参り)平成二十二年十月十二日

遠山五己(いつき)くん

平成十七年四月七日生

成長の喜びを仏様に報告し、

感謝するお参りです。



第三十回門信徒会親睦ゴルフコンペ

平成二十二年十月二十三日

…大熱海国際ゴルフクラブ

優勝 勝 矢野 嘉延さん
準優勝 小坂 正義さん
第3位 石原 勝美さん



報 恩 講

平成二十二年十一月十五日

…一三〇余名

ご講師 早島大英師

一年に一度最も大切なご法要です。
親鸞聖人を偲び、生きる「力」を
いただきます。



門信徒のごとこ

平成二十二年十二月九日

…青山劇場(渋谷)

静岡東組内のお寺のご門徒さん同士
の交流の場です。
今年は、観劇「法然と親鸞」を
観に行ってきました。

除 夜 会

平成二十二年十二月三日

…九〇余名

百八ツばかりの煩惱ではない
ことを知り、これからは少
ずつ出していきます。



修正会・新年会

平成二十二年一月四日

…三〇余名

心新たに出発。今年こそはと毎年思っている自分
がいた。



ご正忌報恩講

平成二十二年二月十二日・十三日

…京都・西本願寺(本山)

深々と冷える京都(ご本山(西本願寺)参拝。
身が引き締まりました。

※写真は7.8ページ

今 後 の 活 動 予 定

月 日	内 容	場 所
平成22年		
2月14日(日)	寺報(第23号)発行	
2月20日~21日	仏教壮年会連盟結成記念日研修会	山 梨 県
3月21日(日)	春季彼岸会法要(午前・午後2部)	本 堂
4月4日(日)	祝入園・入学慶讃法要 釈尊降誕・はな祭り 門信徒会落語の会(桂平治師匠)	本 堂
4月19日(月)	門信徒会親睦ゴルフコンペ	未 定
4月25日(日)	門信徒会親睦ボウリング大会	ジョイランドみしま
5月1日(土)	門信徒会定期総会	本 堂
7月 日	門信徒会親睦海外研修旅行	ブラジル(予定)
<p>※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。 ※定例法座は毎月第1土曜日 午後7時より本堂にて開催。 ※その他に親睦の集いを募集・計画中。</p>		

(日頃の忙しさから解放されて
気持ちが軽くなる自分を発見
できるかもしれません。)



前回作品展の風景

門信徒会作品発表会

(末広和顔会展)についてお願い(平成二十二年十月開催)

|| 実行委員会 ||

今年は恒例の作品発表の年となりました。平成十七年に始めて四回目の企画となります。毎回門信徒の皆様の協力のお陰をもちまして数多くの力作が揃い、盛大かつ楽しく開催することが出来ました。今回も作品の種類、点数等は拘りませんが、開催予定としては十月になります。今からでもご準備よろしくお願いいたします。

「正忌報恩講参拝 — 長照寺との出遇い —」

平成二十二年二月十二日〜十三日



門信徒 秩父 カヲ子

「はじめまして！」

我が家の御先祖様は秋田の地で眠っておりましたが、私達も三島に住んで四十有余年になり故郷がだんだん遠くなつてしまい思い切つて三島の地にと思ひ昨年の秋に門信徒のお仲間入りをさせて頂きました。

本持住職の平成二十一年、年頭の御挨拶の中での「ご供養の心」と、「お念仏の道」の意義に対してはとても感銘を受け、時間の許す限り沢山の楽しい思い出づくりと、素晴らしい人生だったと云える自分でありたいと思ひ、この度の御正忌報恩講参拝と研修旅行に参加させて頂きました。
今回は少人数で、とても



本山御影堂前



お勤めの風景



二条城

なごやいだ霧囲気の中でのスタートでした。

初日は小雨の中の走行でしたが、厳冬と云われた割りには穏やかな京都でした。

本山御影堂でのご法要は沢山の参拝者でもとても厳粛なものでした。その後「書院」「龍虎殿」「唐門」「飛雲閣」の国宝建造物を見学させて頂きましたが、それは素晴らしい物で、日本文化の真髄を眼のあたりにしたと云った感じで、ただただ感動と感謝の念でいっぱいでした。

二日目は「二条城」を見学させて頂きましたが、高校の修学旅行以来でしたので殆ど記憶がなく改めて国宝の素晴らしさを再認識させられました。

二日間の旅で素晴らしい体験は長照寺との御縁を頂いた事で、この様な想い出をつくる事が出来本当に有難うございました。

♪ 素敵な出逢いに感動！そして想い出づくりに感謝！♪

平成21年度下期の行事



ご正忌報恩講(飛雲閣前にて)



お寺の林間学校(門徒子弟研修会)

一言法話



「過去を追わざれ・未来を願わざれ…よく観察し揺らぐ事なく、
動ずる事なく、今日のなすべき事をなせ」

行く年来る年「あ!」と云う間の一年です。去年は不況の二文字が吹きまくり、心の不況も知る所です。今だからこそ仏法に目覚め本当の教えに会いたいものです。何事にも動ぜず平常心を保つ事は難しいですが、求めて行く所に人の美しい姿と心が現れる気がします。どうぞ一年止まる事なく、心の不況を吹き飛ばしましょう。

合掌

心の窓を開く

ラジオ法座

FM三島函南 77.7MHz

毎週水曜日

お話/当山住職

朝7時45分(5分間)

●法話をまとめた小冊子第1～5巻が
発行されています。
お尋ねください。

編集後記

- ☆お寺からのお便りは、家族皆さん必ず読んで頂く習慣をつけましょう。
- ☆お寺は「よろず相談処」です。日頃悩んでいる事がありましたら、何でもご相談ください。
- ☆次回寺報は、平成22年7月11日(日)発行予定です。

●ご意見・ご要望は、寺務所まで
〒411-0044三島市徳倉1195-817
TEL・FAX 055-988-3900
編集人=長島・菊沢・斉藤・園田